

旧赤松家だより

令和2年1月15日



令和2年が始まりました。旧赤松家記念館では、今年も様々な行事を予定しています。また、庭園では四季折々の風情を楽しむことができます。お気軽にご来館ください。お待ちしております。



【庭の貯蔵庫】

干支が一回りして子年に戻ってきました。よく耳にするのが【子年生まれの人は一生食べることに困らない。】うらやましい限りです。また子年は繁栄の年といわれ、特に、^{かのえね}庚子の今年は何か新しいことを始めると良いそうです。さて、縁起が良いイメージのネズミですが、衛生面で悪評高く、駆除されて今日ではすっかり姿を見かけなくなりました。旧赤松家には、ネズミが好きそうなお蔵が二つ（内蔵、米蔵）と、庭にドームの形をした貯蔵庫があります。在りし日の赤松邸はネズミたちにとって、さぞかし居心地のよい楽園だったのではないかと想像しています。

内蔵1階ギャラリーでは、15日から郷土史スケッチクラブの皆さんによる作品展「大須賀義明と絵画教室の仲間たち」を開催しています。味わいあるタッチで描かれた遠州各地の懐かしい風景が並びます。童心にかえってお楽しみください。

内蔵ギャラリーのご案内

『大須賀義明と絵画教室の仲間たち』の作品展

開催期間：1月15日(水)～1月28日(火)

*休館日 1月20日(月)、27日(月)

開催時間：午前9時～午後4時30分

(最終日は午後2時半まで)

入場料：無料

出展者：郷土史スケッチクラブ

問い合わせ：旧赤松家記念館 0538-36-0340



<展示作品から>